

読者の皆様へ

「試験攻略入門塾 速習！マクロ経済学（第1刷、第2刷）」訂正のお詫びとお知らせ

「試験攻略入門塾 速習！マクロ経済学」の作成に際しましては、間違いが生じないように多くの方にチェックいただきましたが、残念ながら、下記の間違いがございました。読者の皆様にご不便おかけしたことをお詫び申し上げます。また、間違いをご指摘いただいた方々に御礼申し上げます。なお、お手持ちの本の刷り部数は最終ページ（371ページの次ページ）をご確認ください。お手数おかけしますが、よろしくご訂正ください。

2013年3月12日

著者 石川秀樹

p.20 14～15行目 $a=0.7, b=100 \rightarrow a=100, b=0.7$ (2011.6.11)

p.57 2行目 Net National Product \rightarrow Net National Income (2011.6.11)

P62 補足のコラム内下から3行目 $=201 \text{ 万円 } 101 \text{ 円} \times 100 = 199 \rightarrow =201 \text{ 万} \div 101 \text{ 円} \times 100 = 199\%$
(2013.3.12)

p.67 下から2行目 国民所得（国民総支出） \rightarrow 国民所得（国内総支出） (2011.7.20)

p.67 最後の行 （国民総生産） \rightarrow （国内総生産） (2011.7.20)

p.85 下から3行目 資産市場の \rightarrow 資産市場と (2011.7.20)

P131 20行目 $\frac{b}{1-b}$ でした $\rightarrow \frac{1}{1-b}$ でした(2013.3.12)

p.146 図表 11-5 利子 年2回 \times 10年間=20回 \rightarrow 年2回 \times 7年間=14回 (2011.6.11)

p.146 図表 11-5 網掛けが23にかかっているのをとる。23の上の利子は22年末の利子なので以前の債券保有者が受け取るからです。(2011.7.20)

P155 7行目 にとって、 \rightarrow によって(2013.3.12)

p.156 2番目のコラム<理由>を削除 (2011.7.20)

p.187 図表 15-10の2行目 (2箇所) 法的準備率引き下げ \rightarrow 法定準備率引き下げ (2011.7.20)

p.201 図表 17-3 投資曲線 図表 17-4 IS 曲線 \rightarrow 図表 17-3 IS 曲線 図表 17-4 投資曲線
(2012.5.11)

p.215 図表 18-7 タイトル 金融引き締め策の効果 利子率(r) \rightarrow 利子率(r)を削除 (2011.7.20)

p.217 下から6行目 第18 \rightarrow 第19 (2011.7.20)

P255 下から3行目 W/P \rightarrow M/P(2013.3.12)

p.276 下から13行目 と現実の予想物価上昇率が \rightarrow と現実の物価上昇率が (予想の削除) (2011.7.20)

p.286 下から10行目 右下がり \rightarrow 右上がり (2011.12.12)

p.288 <解法>の2行目 今期も続くという予期で \rightarrow 今期も続くという予想(期待)で (2011.7.20)

p.295 上から3番目のコラム<時事>の後半部分「しかも、年々、外国の株式保有量は・・なっています(コラムの最後まで)。」を削除。これは、リーマンショック以降、外国企業の利益減少による配当減少と低金利による利子の減少によって所得収支の黒字が減少しているからです。(2011.7.20)

p.297 図表 27-2 所得収支(+13.7)の右の「黒字かつ増加基調」 \rightarrow 「黒字」(「かつ増加基調」の削除) (2011.7.20)

p.325 図表 29-2 中の2行目 t年(毎年Y円消費) \rightarrow t年(毎年Y円所得) (2011.7.20)

p.326 下から4行目 $=\frac{fY+t}{T} Y \rightarrow =\frac{f+t}{T} Y$ (分子のYを削除) (2011.7.20)

p.326 下から3行目 $\frac{fY+t}{T} = 0.9 \rightarrow \frac{f+t}{T} = 0.9$ (分子のYを削除) (2011.7.20)

p.348 3番目のコラム<補足>の6行目 $G_w = \frac{s}{v}$ は $\rightarrow G_w = \frac{s}{v}$ は (2011.7.20)

p.349 5行目【2】のタイトル 現実の成長率（G）と保証

→ 現実の成長率（G）と保証成長率（G w）が異なるケース（2011.7.20）

P368 クラウディング・アウト（のページ番号） 210 → 220（2011.12.12）

以 上